

## コミュニケーション・オン・エンゲージメント(COE)

一般社団法人 日本CFO協会

### 本コミュニケーション・オン・エンゲージメントが対象とする期間

開始日: 2020年6月1日

終了日: 2022年5月31日

### パートI. 最高責任者による国連グローバル・コンパクトへの継続的支持の表明

以下の枠内に、貴団体の最高経営責任者またはそれに相当する役職が署名した継続的支持の声明を記載してください。

ステークホルダーの皆様へ

私は、一般社団法人日本CFO協会が人権、労働、環境、腐敗帽子に関する国連グローバルコンパクト10原則を支持することをここに表明いたします。これは、国連グローバルコンパクトに対する、当団体のコミュニケーション・オン・エンゲージメントです。皆様からのフィードバックをお待ちしております。

当協会では、2000年の創立以来、「日本社会におけるグローバルな経理財務分野の人材育成」に務めてまいりました。当協会が掲げるミッションは、国連グローバルコンパクトの10原則に合致したものと考えております。

ここ数年で加速した新しい流れに、SDGs、ESGを含むサステナビリティの課題がございます。気候変動や環境破壊、格差の拡大、人権問題といった、これまでの資本主義が積み上げてきた課題が、看過できないほどの歪を社会全体にもたらしており、「新しい資本主義」でありますとか「サステナブルな資本主義」といった言葉もございますように、資本主義そのものを大きく見直すという転換期に入っております。

サステナビリティをめぐる課題への取り組みは、2021年のコーポレートガバナンスコードの改訂におきましても、中長期的観点から取り組むべき課題として位置付けられ、また、資本市場におきましてもこのサステナビリティは今や世界中で最も注目される指標の一つとなっております。過去の延長線上ではなく、新しい時代を見据えた新しい発想によって、企業戦略を経営理念や存在意義にまで立ち返って変革することが求められていると言ってよいでしょう。

このコミュニケーション・オン・エンゲージメントでは、国連グローバル・コンパクトおよびその原則を支持するために当協会が行なった取り組みについて説明しております。また、当協会のウェブサイトを通じて、当協会の取り組みをステークホルダーの皆様にご公表しております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 藤田純孝

## パートII. 取り組み状況

以下の枠内で、国連グローバル・コンパクトを支持するために貴団体で行った取り組みを説明してください。取り組みには、推奨された具体的活動の1つまたはそれ以上と関連したものを挙げることを強くお勧めします。組織形態別に提示された推奨活動に関する取り組みの完全なリストについては、[ここ](#)で確認してください。

**実施項目:「企業のガバナンスや金融とCSRをテーマにした調査研究を実施し、広く啓蒙活動をおこなう。」**

過去2年間の上記テーマによる啓蒙活動には、以下のようなものがあります。

- 「グループガバナンスと事業ポートフォリオマネジメントに関するサーベイ」(情報誌CFO FORUM2020年5月掲載)
- 「日本企業における非財務情報活用とその実態調査」(情報誌CFO FORUM2021年5月掲載)
- 「コーポレートガバナンスの強化とITシステムの貢献」(情報誌CFO FORUM2022年3月掲載)
- 「グループガバナンスと事業ポートフォリオマネジメントに関するサーベイ」(情報誌CFO FORUM2022年5月掲載)
- 「日本における、非財務情報開示の動向と経理財務部門に期待される役割」(CFOセミナー2022年5月実施)

また、協会ウェブサイトでは、以下のようなプロジェクトをご紹介します、企業からの協力を呼びかけています。

- 「税制優遇措置対象の寄付プロジェクト」のご紹介
- 協会会員企業のCSR活動のご紹介

### パートIII. 成果の測定

以下の枠内に、上記パートIIで説明した活動の成果を測定する上で、最も適切な定量的／定性的指標を記載してください。

#### パートIIの取り組み成果について:

- 啓蒙活動の成果:

- 掲載情報誌の購読者数:

- CFO FORUM発行回数24回(2016年6月～2018年5月)
- 購読者数 31,294名(直近の発信数)

- イベントへの参加者数(申し込みベース):

- CFO NIGHT!! 2016 : 463名
- CFO NIGHT!! 2017 : 447名
- CFO FORUM JAPAN 2016 : 467名
- CFO FORUM JAPAN 2017: 493名